

人材育成のためのMEMS集中コース開催報告

平成25年8月7日～8月9日の3日間の日程で、人材育成のためのMEMS集中コース in つくば（MEMS集中講義）が筑波大学 春日エリア 春日講堂において開催されました。運営を担当された、東北大学 マイクロシステム融合研究開発センター 最先端研究開発部門 蛸島武尚支援統括に話を伺いました。

このコースは東北大学 江刺正喜教授が学生向けの夏季集中講義として始めたものですが、2002年からMEMSパークコンソーシアム、東北大学等の主催により、この分野に係わる研究者・技術者を対象として、毎年8月の3日間、東京、福岡、名古屋、京都等で開催してきました。今年は筑波大学大学院 数理物質科学研究科との共催により、TIA連携大学院サマー・オープン・フェスティバル2013の一環としての開催となりました。

内容は、MEMS技術の基礎的知識から各分野のアプリケーションの応用展開まで、様々な角度からMEMS技術を3日間に亘って講義するもので、事前登録不要、当日直接参加可としており、専門や興味に応じて必要な講義を聴講することも可能となっている点もこのコースの特徴です。また、講義資料及び講義資料を収録したDVDが無料で配布されています。

昨年度までこのコースに学生が参加することは稀でしたが、今年は筑波大学と共催したことにより16名（全参加者：111名）の学生の参加がありました。講義のVTRと資料は近日中にMEMSパークコンソーシアムのHPにおいて公開予定です。興味のある方は是非ご覧ください。 <http://www.memspc.jp/>

■ 講師

江刺正喜、小野崇人、門田道雄、末永智一、
戸津健太郎、羽根一博、芳賀洋一（以上、東北大学）
前田龍太郎、亀井利浩、小林健、高木秀樹、田中秀治
（以上、産業技術総合研究所）
鈴木博章（筑波大学）

学習・実習内容

Day 1

マイクロマシニング1（概論、フォトファブリケーション、エッチング）、マイクロマシニング2（堆積、接合、複合プロセス、パッケージング他）、接合実装、光MEMS

Day 2

自動車・家電・安全（圧力、加速度センサ・ジャイロ、赤外線イメージャ他）、マイクロアクチュエータ、Pont-of-Care マイクロデバイスのための光MEMS集積技術、マイクロ/ナノ電極システムを用いたバイオセンシング、高機能電気化学マイクロデバイス、医療・ヘルスケア(健康管理)応用、MEMS試作・少量生産サービスと社会課題対応センサネットワーク、MEMS開発と製品製作、交流会

Day 3

製造検査関連（電子線制御、分析、微量流体制他）、ナノ構造と応用、マイクロエネルギー源、情報・通信応用(光以外)、圧電フィルタ、圧電MEMSデバイス、見学会（筑波大学 微細加工プラットフォーム）



東北大学
江刺正喜教授

筑波大学
鈴木博章教授

開催日	2013年8月7日～9日	
場所	筑波大学 春日エリア 春日講堂	
主催	東北大学 マイクロシステム融合研究開発センター 産業技術総合研究所 集積マイクロシステム研究センター MEMSパークコンソーシアム	
参加人数	111名（内 学生16名）	

TIA連携大学院WG News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <http://tia-edu.jp>